

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
 TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL: <http://www.sairingi.com/>
 携帯URL: <http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成29年度定時会員総会 開催される

平成29年度定時会員総会が平成29年6月9日(金)大宮ソニックシティ906号室にて開催された。本総会の審議内容は、平成28年度事業報告、収支決算報告、監査報告、第46回埼玉県医学検査学会学会長選出および平成29・30年度監事の選任についてであった。

総会は小山博史事務局次長の進行で、津田聡一郎会長の挨拶で始まり、つづいて砂川進氏、原繁一氏、前原光江氏の各名誉会員の紹介があった。

総会は議案審議に先立って高野通彰氏(川口市立医療センター)が議長に選出され、高野議長により総会役員が指名された。資格審査委員は猪浦一人理事、東部地区から小関紀之氏(獨協医科大学越谷病院)、南部地区から柿沼智史氏(川口市立医療センター)、西部地区から大出淳氏(埼玉医科大学総合医療センター)、北部地区から田中亜紀氏(熊谷総合病院)が任命され、資格審査委員長には委員の互選により、猪浦理事が選出された。また、書記は西田満喜子氏(さいたま市立病院)と

立塚梓氏(蕨市立病院)が、議事録署名人には長谷川隆氏(浦和医師会メディカルセンター)と関口久男氏(埼玉県済生会栗橋病院)がそれぞれ任命された。その後、高野議長は「18時30分現在の出席者数68名、委任状出席者数1,784名、議決権行使書数232名で、合計2,084名であり、本通常総会を構成する会員数は5月31日現在の会員数は2,763名で、現在の出席者数は総会審議のための必要出席者数である1/2を超えており、『定款』第18条の規定により本総会は成立している。」と宣言された。



津田会長



高野議長

議事審議は、最初に猪浦資格審査委員長より、議事日程が提案された。それに沿い高野議長の進行により審議が始まり、第一号議案の平成28年度事業報告について津田会長、神山清志副会長、岡田茂治副会長から、第二号議案の収支決算について松岡優会計部長から、監査については遠藤敏彦監事より報告があった。質疑などはなく満場一致で可決された。第三号議案の第46回埼玉県医学検査学会学会長選出は、津田会長より鈴木英之氏(さいたま赤十字病院)を推薦する旨の提案があり、異議なく承認され、鈴木氏が挨拶を行った。第四号議案の平成29・30年度監事の選任について



第46回埼玉県医学検査学会長 鈴木英之氏

は、柴崎光衛役員推薦委員長(獨協医科大学越谷病院)より遠藤敏彦氏、細谷博光氏を推薦するとの提案があり、異議なく承認され、これにてすべての議案が可決された。

総会終了後、日臨技第54回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会の津田学会長と濱本隆明実行委員長より公開講演や特別講演などについてのお知らせがあった。

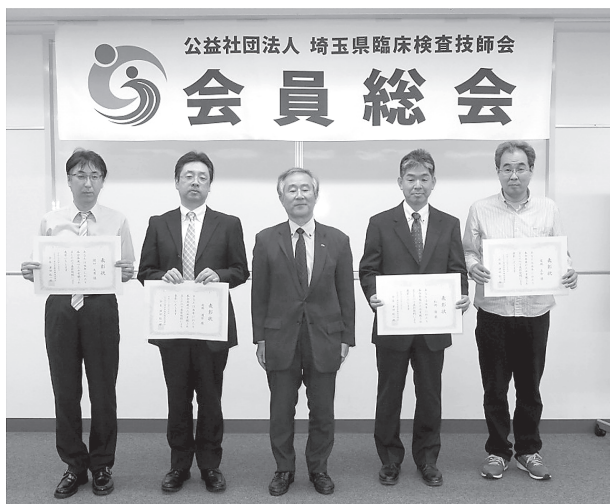
本総会が円滑に開催できたのは、高野議長の円滑な進行と総会役員、出席者の協力および多くの会員の皆様からの委任状協力によるものです。この場をお借りいたし厚く御礼を申し上げます。

追記 今回、総会に先立ち各賞表彰式が行われ、平成28年度埼臨技功労賞が並木薫氏(元埼玉県済生会栗橋病院)に授与された。永年勤続表彰は36名の会員が該当し、総会では4名が表彰された。つづいて「埼臨技会誌優秀論文賞」が鳥山満編集委員長より発表され、熊谷佳奈江氏(越谷市立病院)の論文「当院における胎児超音波スクリーニングの現状」が受賞した。受賞された方々に謹んでお祝いを申し上げます。

(文責：奈良 豊)



埼臨技功労賞



永年勤続表彰



優秀論文賞

平成29年度

日臨技関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会 (第54回) からのお知らせ

『若手実行委員企画について』

総務部 北川 裕太郎 (埼玉医科大学病院)

この度、平成29年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第54回)の実行委員として参加しております埼玉医科大学病院の北川です。本学会の濱本実行委員長と4年前の埼玉県医学検査学会の実行委員会でご一緒した事を契機にお声掛けして頂きました。経験も浅い私ですが、津田学会長から若さと勢いで学会を盛り上げてほしいというお気持ちを受け、学会の成功に向けて全力を尽くす所存です。今回の実行委員は私を含め20代の若手実行委員が3名参加しています。サブテーマの「時代の変化を捉え、新たなる可能性を切り拓く」は、若手実行委員と濱本実行委員長で考案したテーマです。今後、若手技師の力で臨床検査を変え、一新するという思いを込めて決定しました。

若手技師は「上司に言われて学会や研修会に参加をする。参加しても積極的に発言ができない」という声を聞きます。そこで、学会の若手技師が中心となり学会や研修会、技師会の活動に興味を持ち、自ら参加し、発言できるような学会を目指したいという思いから若手実行委員で企画を発案しました。

1. 「若手技師におけるLive@症例検討会」

より多くの方に企画に参加してもらうため学会に来られない方や遠方の方にも参加して頂くため、リアルタイムストーリーミングでの動画配信を行い、SNS等を利用して質問や意見が言える新たな形の症例検討会です。出題者・回答者には若手技師を選任し、若手の目線も入れながら内容にもこだわり、R-CPCとは一味違った全員参加型の躍動感ある企画を目指しています。また、学会終了後も動画を閲覧できるようにして、職場や教育現場での教材としての利用も考えております。

詳細は順次、学会のHPやFacebook、Twitter等でお知らせします。

2. 「アンケートで明かされる検査技師の生態」

検査技師の価値観や意識の違いを厚労省や野村総合研究所(NRI)の生活実態調査と比較して検査技師の生態を明らかにし、今後の働き方、改革につなげるべく事前アンケートを実施します。アンケート結果は学会会場にてポスターを掲示し、詳細な分析を講演にてご案内を考えております。そして、アンケートが完成して配信する運びになりましたので、この場を借りて宣伝させていただきます。参加方法は下記の通りです。

平成29年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第54回) HPにアクセス



アンケート特設ページ



アンケート回答

ご協力よろしくお願ひいたします。

若手実行委員の企画は、まだ課題がありますが、この企画に参加して下さった方々が自分の仕事に誇りを持ち、自らの意思で検査を変えていこうと思える企画にしたいと思っています。私をはじめ実行委員一同、精一杯頑張りますので皆様のご参加をお待ちしています。



平成29年8月・9月 生涯教育研修プログラム修正について

過日、会員の皆様へ配付された8月・9月生涯教育研修プログラムで案内された、平成29年度 第1回検査室運営研修会 認知症について理解を深めよう!!【第2弾!!】「認知症サポーター養成講座」の開催時間が記載されていませんでした。下記のように修正をお願いいたします。

日時：平成29年9月26日(火) 19:00~20:30



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ **臨床化学基礎講座**

主催 臨床化学検査研究班研修会

実施日時：平成29年 5月26日 19時00分~20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講 演 1：遠心分離機について ~遠心分離器をよりスマートに使用するために~

講 師：松井 英和 (日立工機株式会社)

講 演 2：臨床化学の基礎のキ・ソ ~検体の取り扱いから今さら聞けないアレコレ~

講 師：柴田 真明 (心臓血管研究所附属病院)

参加人数：会員67名

出席した研究班班員：巖崎達矢 柴田真明 永井謙一 安田達明 三木隆治 大谷真澄
藤本丈志 大出淳 栗原将希 小林麻里子

研修内容・感想など

今回は臨床化学基礎講座として、遠心分離器についてと検体の取り扱いによる測定値への影響を中心とした演題を2名の講師に講演頂いた。

臨床化学検査では血液検体を分析する際に遠心分離機を用いて検体から血清分離を行う必要があり遠心分離機は切っても切れない装置の一つである。遠心機は回転によって得られる遠心力を用いて試料を分離するための装置であり分析の用途により回転数・遠心力の性能は様々である。検体検査で使用する遠心機は時速50kmで走行するバイクと同じエネルギーがあるとの事であり普段から身近に使用する装置ではあるがバケットへの検体の入れ方・バランスの取り方

など基本的な使用方法には注意が必要である。また遠心機は「労働安全衛生規則」で年1回は最高回転速度・腐食や傷・ローターの固定・回転軸の曲がりなど定期自主検査が必要であるとの事である。

日当直を入れると臨床化学は多くの技師が関わる検査である。データ変動の影響として分析以外にも、採取・運搬・処理・報告・保存など全ての過程が検査結果に影響を与える可能性があるとの事である。分離剤入り採血管では、分離作業は容易であり保存後も赤血球からのAST・LDH・Kの溶出が防げる利点があるが、血中薬物濃度では構造上疎水性の強い化合物である場合は採血管の材質により吸着され濃度の減少が起きる可能性があるとの事である。また遠心前の全血保存に関しても冷蔵・室温により測定値に与える影響が異なりフッ化ナトリウム採血による血糖値測定では、エノラーゼに作用し解糖阻止させる為に解糖阻止までには約2時間を要し血糖値も約10%低下するとの事である。その他、溶血などによる分析以外でのデータへの影響は様々なものがあり正確な測定値を臨床側に報告するためには測定に至るまでの過程についても意識する事が重要で、普段の日常業務でも大いに役立ち明日から直ぐに実践・意識出来る内容であった。

(文責：巖崎達矢)

テーマ よくわかる輸血検査の基礎と知識 － 実技に関する事前講習会 初級者・中級者 －

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成29年 6月 2日 19時00分～20時40分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：血液型検査・不規則抗体検査について

講 師：齋藤 翔子（済生会川口総合病院）

講 演 2：カラム凝集法・抗体解離

講 師：野呂 光恵（埼玉医科大学総合医療センター）

参加人数：会員96名 賛助会員 6名 会員申請中 2名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一義 佐藤祥子 長谷川卓也 久保居由紀子 野呂光恵
齋藤翔子 神戸考裕

研修内容・感想など

輸血検査実技研修会の事前講習会を開催した。参加者は100名を越える会員が集まり関心のある内容であった。血液型検査、不規則抗体検査では輸血検査の手技や検査結果の解釈が中心であった。血液型を2回確認する意味、全自動輸血検査装置を用いる場合の条件など、昨年改訂された赤血球系検査ガイドラインの解説を交えての講演であった。カラム凝集法、解離試験では、実習時に使用するカラム凝集法の原理やエアギャップの作成について、操作と意味を含めて説明していただいた。また、実技研修会では解離液をカラム法にて同定するため、操作の注意点についても説明があった。

この研修会は、4月から日当直検査を始めた初心者の方から、指導者まで知識の確認ができる解り易い内容であった。輸血検査の手技や、操作の意味を理解して実技研修会に望んでいただければ、基本操作から異常反応の対応まで幅広く対応できる輸血検査技師の育成に繋がると思われた。

(文責：神戸考裕)

平成29年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第3回 理事会議事録

日 時：平成29年6月8日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山
奈良 長岡 猪浦 石井 松岡
小島 濱本 藤井 長澤 神嶋
伊藤 濱田 山口 鳥山

(監事)遠藤

欠 席：(理事)島村 武関 阿部

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は19名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成29年5月11日～平成29年6月7日)

5月11日(木)平成29年度第2回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、武関、阿部、遠藤、細谷

5月14日(日)リレー・フォー・ライフinさいたま キックオフミーティング：
津田

5月15日(月)埼玉県法務局へ変更登記申請に関する相談：矢作

5月17日(水)人間総合科学大学保健医療学部保健医療福祉専門職連携論講義：
神山

5月18日(木)全国健康保険協会埼玉支部新規加入事業所ご担当者向け相談会：
小山

5月24日(水)第1回平成29年度理事・研究班合同会議：
津田、神山、小山、長岡、松岡、

小島、石井、濱本、山口、鳥山、武関、阿部

6月1日(木)公益社団法人埼玉県看護協会研修センター竣工式：
津田、岡田

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 5月14日、リレー・フォー・ライフinさいたま キックオフミーティングに津田会長が出席した。
- 2) 5月17日、人間総合科学大学保健医療学部にて、神山副会長が保健医療福祉専門職連携論についての講義を行った。
- 3) 5月18日、全国健康保険協会埼玉支部新規加入事業所ご担当者向け相談会に出席した。
- 4) 6月1日、公益社団法人埼玉県看護協会研修センター竣工式に津田会長、岡田副会長が出席した。
- 5) 埼玉県衛生研究所所長変更の連絡があった。
新所長 中島 守氏
- 6) 日臨技より平成29年度定時総会の成立に関する協力があつた。
- 7) 平成29年度埼玉県公衆衛生事業功労者表彰推薦者6名について県へ回答した。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第457号、6月15日発行予定

3 事業部

- 1) 第1回検査室運営研修会の生涯教育点数付与無し・参加費無料の件について

4 学術部

- 1) 5月24日、第1回平成29年度理事・研究班合同会議を開催した。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 平成29年度正会員費53名分265,000円、入会金35名分35,000円、合計300,000円の入金があつた。
- 2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×2研修会、38,000円×1研修会、合計138,000円の入金があつた。
- 3) ㈱メテオ(メディカルオンライン)より、包括著作権使用料5,550円の入金があつた。
- 4) ㈱サンメディアより、許諾料2,106円入金があつた。

- 5)平成29年度退会者 2名分の返金 (5,000円 × 2名) を行った。
- 6)石井印刷へ、埼臨技だより456号印刷代 82,399円を振り込んだ。
- 7 精度管理委員会
 - 1)特になし。
- 8 一都八県会長会議
 - 1)特になし。
- 9 日臨技関甲信支部
 - 1)特になし。
- 10 日臨技
 - 1)特になし。
- 11 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会
 - 1)6月21日、第4回実行委員会を開催予定。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1)会員動向(平成29年度分)

平成29年6月1日現在

会員数 2,835名

(新入会員 155名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 64社[平成28年度 82社]

承認された。

- 2)埼臨技事務所の夏期休暇について

8月14日(月)から8月18日(金)まで夏季休暇とすることで、承認された。

承認された。

2 総務部

- 1)平成29年度会員名簿作成について

CD(パスワード入力を必要とする)とすることで承認された。

- 2)簡易電話帳について

施設名と電話番号のみの簡易電話帳を作成し、各施設1部配布することで承認された。

3 事業部

- 1)平成29年度埼臨技・臨床検査技師養成校意見交換会について承認された。

4 学術部

- 1)特になし。

5 精度保証部

- 1)特になし。

6 会計部

- 1)特になし。

7 精度管理委員会

- 1)特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1)特になし。

Ⅳ. 議題

- 1)特になし。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。



お知らせ

埼臨技事務所夏季休暇のお知らせ

平成28年8月14日(月)～18日(金)

上記期間事務所はお休みになります。

求人案内

○社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会川口病院

採用条件：正職員

連絡先：048-253-8907 内線 3054

人事・総務課 中島完尚

○大宮静脈瘤クリニック

採用条件：契約社員

連絡先：03-6433-5472

事務局 人事 小島

○株式会社 アムル 上尾中央臨床検査研究所

採用条件：正職員

連絡先：048-997-7721 総務課 村瀬

○埼玉県済生会栗橋病院

採用条件：正職員

連絡先：0480-52-3611

内線 86403 人事課 横井

内線 86320 検査科 猪浦

○田中内科大宮糖尿病クリニック

採用条件：臨時職員（パート）

連絡先：048-643-3333 院長 田中隆久

○株式会社 ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：049-234-7310 人事課 古田島

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：048-645-1256 本部長 星野

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

7月に入り、梅雨の季節も明けると夏本番になります。

先月の梅雨のときに、この時期が旬の梅で梅酒を作ってみました。

通常は蒸留された焼酎と氷砂糖で作ります。この場合、梅本来の味が強く出たオーソドックスな梅酒が出来上がりますが、焼酎をウイスキーやウオッカまたはラム酒などで変えて作ると色々な風味の梅酒ができるそうです。

梅雨の時期に梅酒を作ると夏の終わりの残暑の厳しいときに飲むことができます。梅酒には、疲労回復、食欲増進、整腸作用、成人病予防などの大変良い効能があると言われていいます。でも、飲み過ぎには注意ですね。

(奈良 記)

